



令和5年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和4年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 モリ工業株式会社
 コード番号 5464 URL <https://www.mory.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 宏明
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 河野 博光
 四半期報告書提出予定日 令和4年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 06(6635)0201

(百万円未満切捨て)

1. 令和5年3月期第1四半期の連結業績(令和4年4月1日～令和4年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年3月期第1四半期	12,115	24.8	1,467	20.8	1,696	30.9	1,178	15.3
4年3月期第1四半期	9,706	22.7	1,214	145.1	1,295	96.0	1,022	134.2

(注) 包括利益 5年3月期第1四半期 1,184百万円(35.2%) 4年3月期第1四半期 876百万円(64.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
5年3月期第1四半期	円 銭 151 80	円 銭 —
4年3月期第1四半期	130 36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
5年3月期第1四半期	百万円 63,235	百万円 46,719	% 73.8	円 銭 6,010 72
4年3月期	62,527	46,311	74.0	5,958 67

(参考) 自己資本 5年3月期第1四半期 46,678百万円 4年3月期 46,275百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
4年3月期	円 銭 —	円 銭 30 00	円 銭 —	円 銭 100 00	円 銭 130 00
5年3月期	—	—	—	—	—
5年3月期(予想)	—	40 00	—	90 00	130 00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和5年3月期の連結業績予想(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,000	9.6	2,100	△24.6	2,200	△25.9	1,500	△32.1	193 15
通期	45,000	4.5	4,600	△19.1	4,800	△21.9	3,400	△21.3	437 79

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	5年3月期1Q	7,766,380株	4年3月期	7,766,380株
② 期末自己株式数	5年3月期1Q	446株	4年3月期	230株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	5年3月期1Q	7,766,088株	4年3月期1Q	7,846,248株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8
<参考資料>	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種等の効果もあり、3月にまん延防止等重点措置が解除され、景気は緩やかに持ち直しておりました。しかしながら、新たな変異株による感染再拡大やウクライナ危機の緊迫化による資源価格の上昇、為替相場の円安見通しから更なる価格上昇が懸念され、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属しておりますステンレス業界でも、高騰したニッケル市況は落ち着きつつあるものの、依然として材料価格の上昇が続いており、今後のニッケル市況の動向や製品需給の見通しについて注視していく必要があります。

このような状況下におきまして、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は121億15百万円（前年同四半期比24.8%増）となりました。前年同四半期に比べ販売数量の増加及び販売単価の上昇等により、売上高は増加しております。また収益面におきましても、生産高の増加や工場稼働率の上昇等により、営業利益は14億67百万円（前年同四半期比20.8%増）となりました。経常利益は為替差益や受取配当金の増加が寄与し、16億96百万円（前年同四半期比30.9%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、11億78百万円（前年同四半期比15.3%増）となりました。

各セグメントの状況は次のとおりです。

(日 本)

日本事業の売上高は116億96百万円（前年同四半期比24.9%増）、セグメント営業利益は14億24百万円（前年同四半期比23.9%増）となりました。製品部門別の売上高は以下のとおりです。

ステンレス管部門は、自動車用はメーカーの減産により数量が減少しましたが、配管用は数量の増加と製品価格の上昇により、売上高は65億20百万円（前年同四半期比26.5%増）となりました。

ステンレス条鋼部門は、前年同四半期と比べて数量が若干減少しましたが、製品価格の上昇により、売上高は28億47百万円（前年同四半期比17.1%増）となりました。

ステンレス加工品部門は、家庭用金物製品については順次撤退を進めており、売上は減少しましたが、給湯器用フレキ管が好調に売上を伸ばし、売上高は3億32百万円（前年同四半期比8.8%増）となりました。

鋼管部門は、建設仮設材用の需要が回復し、製品価格も上昇したため、売上高は18億33百万円（前年同四半期比37.5%増）となりました。

機械部門は、取引先の設備投資意欲が戻りつつあり、売上高は1億62百万円（前年同四半期比16.1%増）となりました。

(インドネシア)

インドネシア事業は、現地の二輪車メーカーの部品や半導体等の不足の影響により二輪車向けの数量は減少しましたが、四輪車メーカーの新車投入効果もあり、四輪車向けの数量は増加しました。製品価格の上昇と円安の効果もあり、売上高は4億19百万円（前年同四半期比41.4%増）、セグメント営業利益は42百万円（前年同四半期比75.0%増）となりました。

(セグメント・製品部門別売上高比較表)

区 分	前第1四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)		前連結会計年度 (自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
日 本						
ステンレス管	5,154	53.1	6,520	53.8	22,457	52.1
ステンレス条鋼	2,431	25.1	2,847	23.5	10,464	24.3
ステンレス加工品	305	3.1	332	2.8	1,178	2.7
鋼 管	1,333	13.7	1,833	15.1	6,722	15.6
機 械	139	1.4	162	1.3	663	1.6
インドネシア	296	3.1	419	3.5	1,426	3.3
そ の 他	44	0.5	—	—	162	0.4
合 計	9,706	100.0	12,115	100.0	43,076	100.0

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の総資産は632億35百万円となり、前連結会計年度末に比べて7億8百万円増加いたしました。総資産の増減の主なものは、現金及び預金の減少10億23百万円、受取手形及び売掛金の増加6億89百万円、棚卸資産の増加7億39百万円などであります。負債の部は2億99百万円増加いたしました。負債の部の増減の主なものは、支払手形及び買掛金の増加6億94百万円、流動負債（その他）の増加3億79百万円、未払法人税等の減少9億69百万円などであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は467億19百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億8百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が4億2百万円増加したことなどによるものであります。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて0.2ポイント低下し、73.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績予想につきましては、令和4年5月10日の決算短信で公表いたしました業績予想から変更はありません。

当社グループの業績に直接的又は間接的に影響する主な要因のうち、当社グループの事業と密接に関連する重要なものとしてステンレス鋼の市況があります。ステンレス鋼の市況は需給バランスだけでなく、ステンレスの主原料であるニッケル市況の影響を強く受けています。これらはいずれも的確に予測できるものではなく、また、予測どおりに推移する保証もありません。

業績予想に際しては、予想時点の状況を基として予想期間における当社グループに関連する情勢を加味しておりますが、業績予想は実際の業績を保証するものではありません。実際の業績は、その後の情勢の変化等に伴い予想と乖離することがあります。その場合は、業績見込みの見直しを行い、その結果、業績予想の修正が必要と判断したときには速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和4年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,580	12,557
受取手形及び売掛金	9,154	9,843
電子記録債権	5,889	6,294
棚卸資産	11,327	12,066
その他	225	165
貸倒引当金	△16	△17
流動資産合計	40,162	40,911
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,999	8,046
その他(純額)	7,967	8,076
有形固定資産合計	15,966	16,123
無形固定資産		
その他	75	79
無形固定資産合計	75	79
投資その他の資産		
その他	6,331	6,129
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	6,322	6,120
固定資産合計	22,364	22,323
資産合計	62,527	63,235
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,453	4,147
電子記録債務	6,005	6,353
短期借入金	1,336	1,336
未払法人税等	1,382	413
賞与引当金	398	158
その他	1,587	1,966
流動負債合計	14,163	14,375
固定負債		
長期借入金	670	661
役員退職慰労引当金	158	161
執行役員退職慰労引当金	15	17
退職給付に係る負債	179	178
その他	1,029	1,120
固定負債合計	2,052	2,139
負債合計	16,216	16,515

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和4年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,360	7,360
資本剰余金	7,149	7,149
利益剰余金	29,904	30,306
自己株式	△0	△0
株主資本合計	44,413	44,816
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,014	900
為替換算調整勘定	617	730
退職給付に係る調整累計額	229	231
その他の包括利益累計額合計	1,862	1,862
非支配株主持分	35	40
純資産合計	46,311	46,719
負債純資産合計	62,527	63,235

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)
売上高	9,706	12,115
売上原価	7,155	9,347
売上総利益	2,550	2,768
販売費及び一般管理費	1,335	1,300
営業利益	1,214	1,467
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	36	52
持分法による投資利益	32	33
為替差益	—	131
雇用調整助成金	5	—
その他	10	13
営業外収益合計	87	233
営業外費用		
支払利息	2	2
その他	4	1
営業外費用合計	6	4
経常利益	1,295	1,696
特別利益		
投資有価証券売却益	165	—
特別利益合計	165	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券売却損	0	—
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	1,460	1,695
法人税、住民税及び事業税	355	373
法人税等調整額	81	142
法人税等合計	436	515
四半期純利益	1,023	1,180
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,022	1,178

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)
四半期純利益	1,023	1,180
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△126	△114
為替換算調整勘定	△0	91
退職給付に係る調整額	1	1
持分法適用会社に対する持分相当額	△21	25
その他の包括利益合計	△147	4
四半期包括利益	876	1,184
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	875	1,179
非支配株主に係る四半期包括利益	1	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 令和3年4月1日 至 令和3年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	インドネシア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,364	296	9,661	44	9,706	—	9,706
セグメント間の内部 売上高又は振替高	910	—	910	—	910	△910	—
計	10,274	296	10,571	44	10,616	△910	9,706
セグメント利益又は 損失(△)	1,149	24	1,174	△8	1,165	48	1,214

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自転車関連商品の販売にか
かる事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	インドネシア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,696	419	12,115	—	12,115
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,696	419	12,115	—	12,115
セグメント利益	1,424	42	1,466	0	1,467

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において、自転車関連商品の販売にかかる事業を譲渡し撤退したことから、当第1四半期連結会計期間より「その他」の区分を廃止しております。

— 以上 —

<参考資料>

令和4年7月29日
モリ工業株式会社

令和5年3月期 第1四半期 決算発表

1. 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期末 R4. 3. 末	当四半期末 R4. 6. 末	増 減		前期末 R4. 3. 末	当四半期末 R4. 6. 末	増 減
流動資産	40,162	40,911	749	流動負債	14,163	14,375	212
現金及び預金	13,580	12,557	△1,023	支払手形及び買掛金	9,458	10,501	1,043
受取手形及び売掛金	15,044	16,138	1,094	短期借入金	1,336	1,336	0
棚卸資産	11,327	12,066	739	未払法人税等	1,382	413	△969
その他	209	148	△61	引当金	398	158	△240
				その他	1,587	1,966	379
固定資産	22,364	22,323	△41	固定負債	2,052	2,139	87
有形固定資産	15,966	16,123	157	長期借入金	670	661	△9
土地	7,999	8,046	47	役員退職慰労引当金	158	161	3
その他	7,967	8,076	109	執行役員退職慰労引当金	15	17	2
				繰延税金負債	713	807	94
				その他	495	491	△4
無形固定資産	75	79	4	負債合計	16,216	16,515	299
投資その他の資産	6,322	6,120	△202	純資産	46,311	46,719	408
投資有価証券	3,535	3,337	△198	株主資本	44,413	44,816	403
退職給付にかかる資産	1,740	1,746	6	資本金・資本剰余金	14,509	14,509	0
その他	1,047	1,036	△11	利益剰余金	29,904	30,306	402
				自己株式	△0	△0	0
				その他の包括利益累計額	1,862	1,862	0
				非支配株主持分	35	40	5
資産合計	62,527	63,235	708	負債・純資産合計	62,527	63,235	708

2. たな卸資産回転月数 (期末たな卸資産÷累計期間の月平均売上高)

(単位：月)

	前第1四半期	当第1四半期	増 減
たな卸資産回転月数	2.87	2.99	0.12

3. 有形固定資産の増減内訳

(単位：百万円)

有形固定資産の増減	設備投資	減価償却	その他処分等	為替換算増減
157	287	255	0	125
日本 (49)	(285)	(229)	(7)	(—)
インドネシア (108)	(2)	(26)	(△7)	(125)

4. 実質有利子負債の比較

(単位：百万円)

	前期末 R4. 3. 末	当四半期末 R4. 6. 末	増 減
有利子負債①	2,021	2,012	△9
現預金等換金性のもの②	13,580	12,557	△1,023
実質有利子負債①-②	△11,559	△10,545	1,014

5. 要約連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期 R3.4-R3.6	百分比 %	当第1四半期 R4.4-R4.6	百分比 %	増減
売上高	9,706	100.0	12,115	100.0	2,409
売上原価	7,155	73.7	9,347	77.2	2,192
売上総利益	2,550	26.3	2,768	22.8	218
販売費及び一般管理費	1,335	13.8	1,300	10.7	△35
営業利益	1,214	12.5	1,467	12.1	253
営業外収益	87	0.9	233	1.9	146
受取利息	1		1		
受取配当金	36		52		
持分法投資利益	32		33		
為替差益	—		131		
雇用調整助成金	5		—		
その他	10		13		
営業外費用	6	0.1	4	0.0	△2
支払利息	2		2		
その他	4		1		
経常利益	1,295	13.3	1,696	14.0	401
特別利益	165	1.7	—	0.0	△165
投資有価証券売却益	165		—		
特別損失	0	0.0	0	0.0	0
固定資産除却損	0		0		
投資有価証券売却損	0		—		
税引前四半期純利益	1,460	15.0	1,695	14.0	235
法人税等	436	4.5	515	4.3	79
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	0.0	1	0.0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,022	10.5	1,178	9.7	156

6. 当第1四半期の経常利益増減要因 (前第1四半期対比)

(単位：百万円)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 生産金額(量・価格含む)の増加	719	1. 変動費率の増加	△526
2. 為替差損益	131	2. 固定費の増加	△50
3. その他	132	3. 棚卸評価差損益	△5
計	982	計	△581
		差引	401